

甲斐市議会 脱炭素社会推進事業特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和6年8月26日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（7名）

委員長	赤澤厚君	副委員長	樋口孝之君
	安倍健治君		保坂康君
	加藤敬徳君		小澤重則君
	松井豊君		

欠席委員（1名）

金丸寛君

傍聴議員（1名）

議長 秋山照雄君

説明のため出席した者の職氏名

脱炭素社会 推進監	中込広人君	脱炭素社会 推進課長	石原大助君
政策推進係長	辻俊宏君	事業推進係長	樋渡瑞幹君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中澤一昭	書記	藤井涼子
書記	深澤隼人		

審査内容

1 補正予算審査

議案第75号 令和6年度甲斐市一般会計補正予算（第3号）

(1) 4款 衛生費 2項 環境衛生費
2 その他

開会 午後 1時29分

○書記（深澤隼人君） ご参集大変お疲れさまです。

それでは、ただいまから脱炭素社会推進事業特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、初めに、委員長より挨拶をいただき、委員長の進行により議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、赤澤委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） 改めて、こんにちは。ご苦労さまでございます。

本日は初日に付託されました脱炭素特別委員会の審議をいたすわけでございます。

どうか皆様方の慎重審議をよろしくお願いいたします。挨拶に代えます。

ただいまの出席委員は7名であります。定足数に達しておりますので、これより脱炭素社会推進事業特別委員会を開会いたします。

なお、金丸寛委員におきましては欠席の連絡がありましたので報告をいたします。

○委員長（赤澤 厚君） 本日の委員会は、今定例会初日に付託されました議案の審査を行います。

審査に入る前にお諮りいたします。本日は円滑な審議を行うため、タブレットに入れてあります議案審査日程により審査を行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 異議なしと認めます。そのようにいたします。

それでは、補正予算審査を行います。

議案第75号 令和6年度甲斐市一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

脱炭素社会推進課より4款衛生費、2項環境衛生費について説明をお願いいたします。

石原脱炭素社会推進課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） お疲れさまです。

それでは、脱炭素社会推進課より、8月補正予算につきましてご説明をさせていただきます。

資料につきましては、補正予算説明書18ページ、19ページをお願いいたします。

4款衛生費、2項環境衛生費、2目環境保全費になります。補正額が1,364万円の増額補正をお願いするものでございます。財源の内訳につきましては全て一般財源となります。

資料19ページ及び21ページになりますけれども、事業名につきましては、05脱炭素社会推進事業になります。こちらは、12節委託料としまして1,364万円の増額補正をお願いするものでございます。

内容につきましては、脱炭素先行地域事業の一つとして、竜王庁舎ZEB化を計画しております。ZEBとは、ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディングの略称であり、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物でございます。

本市におきましては、省エネで50%以下まで削減するZEB Readyの認証を取得するため、本年度、当初予算編成時においてリースまたはESCO事業を想定しており、どちらも設計、施工、保守を一括して発注する方式で、国の交付金を活用する中で、竜王庁舎ZEB化補助金として設計分を予算計上しておりました。

先ほどのESCO事業につきましては、Energy Service Companyの略称であり、大まかにリースと同様な内容ではありますが、大きな特徴として、改修により削減された光熱水費からサービス費用を支払う点であり、その対価としては、削減効果が想定より得られなかった場合はESCO事業者が負担する省エネ補償であり、金銭的負担や失敗リスクも低い形で省エネ改修が進められる点であります。

今回の竜王庁舎のZEB改修の発注に当たりまして、改めて見積書を徴取したところ、人件費等の高騰により想定していた設計費よりも約1.2倍上回っておりました。また、省エネ改修は当初事業者からの提案で、本館、新館とも空調設備の更新と照明のLED化のみでZEB化が達成するとのことでありましたけれども、複数の事業者との打合せにおきまして、空調更新とLED化のみでは達成できず、窓改修等も行わなければZEB化が達成できないとの見解も生じたところでございます。

脱炭素先行地域計画提案書では省エネ改修によるZEB化を掲げており、このまま見切り発進した場合は省エネ改修工事が交付金の対象外となる可能性もあり、また、交付対象とするためZEB化を進めた場合、窓の改修等により総事業費が大きく増加する可能性もございます。このため、改めて省エネ改修の範囲と概算総事業費を見極めることを目的に、基本設計を行うための委託料を補正予算に計上いたしました。また、基本設計業務の中では、リース、ESCO事業、直営工事のどの事業手法が経費的に有効かも検討する中で、中長期的な視点による運営とランニングコストの検討を行うため、今回、増額補正をさせていただくも

のでございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。ここで委員並びに職員各位に申し上げます。質問は一問一答方式とし、また、質問、答弁は簡潔明瞭にさせていただきますようお願いを申し上げます。

それでは、説明に対する委員の質疑を行います。

質疑がありましたらお願いをいたします。

加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） 今、ご説明いただいたんですけれども、ちょっといろんな単語出てきて、ちょっとよく分かんなかったんですけれども、このちょっと内容を事前に調べようと思ったんですけれども、資料も何もちょっと掲載がないので、ちょっと考える時間がないのであれなんですけれども、ちょっと聞きたいのは今回の1,364万円ですか、これは先ほど説明の中ではいろんな経費の値上がりとかそういったものが、要するに足らなくなったときこの額を補正するという意味合いなんでしょうか。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 当初は設計費を持っていましたけれども、今回、見積書を徴取したところ1.2倍の見積りが出てきまして、その事業自体はE S C O事業とかリース事業ということで考えていたんですけれども、そこを考えると経費も大きくなっていますので直接工事も検討をしてみるということで、直接工事の場合ですとサービス料とかありませんので、そこら辺の経費負担も踏まえて、今回、基本設計ということでこの施設をZ E B化するためにはどういう工事が必要かということと、あとその手法について直接工事がリース、E S C O、どの事業がいいかということで、再度、ちょっと検討させていただきたいということで、今回、委託料ということで1,300万円ほどのせさせていただきます。

○委員長（赤澤 厚君） 加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） ということは、これは委託料の分の補正予算ということになるんですかね。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 委託料になります。

○委員長（赤澤 厚君） 加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） じゃ、そうしますと先ほどのいろんなものが当初の計画より高騰しているという部分に関しては、国からの交付金の事業になると思うんですけれども、その範囲

では収まらなくなりそうなんですか、どうなんですかね。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 今回、当初予定していたのがリースかE S C Oの事業で、今年度実施設計を予定しておりまして、金額的には8,700万の事業で、交付率が3分の2ですので、5,800万円を補助金で支出する予定になっておりましたけれども、このリースかE S C Oの事業が大分高騰することになりましたので、直営の工事も見据えながら、今回、実際に複数の業者からもZ E B化するためには空調とL E Dだけでは難しいという意見もいただきましたので、実際に、本当にこの庁舎がZ E B化できるかという調査と基本設計も含めて行うということで、委託料で掲載をさせていただいているところでございます。

○委員長（赤澤 厚君） 加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） 今のご説明なんですけれども、いろんなものが当初の計画とちょっとずれているというか、そんなような感じになってやってきたんですけれども、これ、もともとこの事業を計画しているというか、いつ頃までにやるという、その計画自体はこういうものでずれ込んだりとかという懸念はないんですか。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 当初の予定では今年度実施設計、来年、再来年で工事という計画でしたけれども、交付金の計画期間は令和10年までありますので、その期間がちょっとずれこんでも交付金の対象にはなりますので、この工事は実施していきたいと思っております。

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。

加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） いろいろご説明いただいて、高騰の説明なんてちょっと右から左へ抜けちゃうといけないので、できればこういうのを資料で事前にちょっと文章で説明していただければありがたいですけれども、お願いします。

以上です。

○委員長（赤澤 厚君） 答弁はそれに対して。

石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 次回からはそのようにいたします。失礼しました。

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。

そのほかございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） ちょっと確認ですけれども、この施設のZ E B化ということなんですね。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） この本館と新館、併せてZ E B化を計画しております。

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか、松井委員。

何かございますか。

樋口副委員長。

○委員（樋口孝之君） ちょっと教えてください。今、言ったように竜王庁舎の本館と新館のZ E B化を目標に進めているということですが、この間も話出たんですけれども、やっぱり窓も入れないとできないと、達成できないということですが、この窓の改修というのは具体的にはどのように考えているんですか。どのようにするのか、具体的に、改修方法。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 現段階でどの施設を改修すればZ E B化になるかというのが、今までの提案だと空調とL E Dでいけるという業者の意見があったんですけれども、他の業者から聞いたところ、既存の施設でL E Dと空調だけでは厳しいよという意見を聞いていまして、窓の改修についてもどのぐらいの費用がかかるか、今分かりませんので、この委託料の中で、もし窓改修が必要であればその経費も算出していただくかと思っております。

○委員長（赤澤 厚君） 樋口副委員長。

○委員（樋口孝之君） 窓改修すると相当の大きな金額になってくると思うんですね。窓外すのか、ガラスを二重にすとか、複層ガラスにすとかという。それはもうはっきり具体化していないということですが、また具体化したらさっき言ったように、また文書なりで報告をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。

ほかに質疑がないようですので、これで委員会の質疑は終了いたします。

これより討論、採決を行います。

まず、本案に対する討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 討論なしと認めます。

これで討論を終了いたします。

これより議案第75号について採択いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、委員会報告につきましては、ご一任願います。

以上で議案第75号を終わります。

これをもちまして、本委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

委員におかれましては、慎重審議、ご苦労さまでした。

それでは、次にその他に入ります。

委員よりその他、何かありましたらお願いいたします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） ないですか。

事務局、何かありましたらお願いいたします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） なければ、その他を終了いたします。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、脱炭素社会推進事業推進特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 1時44分